

平戸市 議会だより

vol.88
令和7年(2025年)
5月1日発行

CONTENTS

1月臨時会
3月定例会

とかいせん

- ②・・・今議会 ここに注目！
- ⑥・・・総務厚生委員会レポート
- ⑧・・・産業建設文教委員会レポート
- ⑩・・・所管事務調査報告（産業建設文教委員会）
- ⑪・・・行政視察報告（総務厚生委員会）・政務活動報告
- ⑫・・・審議された案件と結果
- ⑬・・・一般質問
- ⑮・・・平戸のチカラ



平和の園児童クラブ（紐差町）を利用する子どもたち

とかいせん

No.88 2025.5.1 平戸市議会だより

編集・発行：平戸市議会広報特別委員会 平戸市岩の上町1508-3

TEL22-9170

FAX22-3427 E-mail: gikai@city.hirado.lg.jp

このコーナーでは、平戸市で活躍する人や団体にスポットをあて、ご紹介します。



平和の園児童クラブ（社会福祉法人聖婢姉妹会） 安心して遊び学べる紐差に

4月1日、紐差小学校の前に、「平和の園児童クラブ」が開設された。子どもたちを見守るのは、東和愛児園を運営する（社福）聖婢姉妹会の皆さん。今号では、中部地区念願の子どもたち憩いの場を紹介する。

安心して生活できる拠点

昼間、仕事などで家庭に保護者がいない小学生の皆さんが、放課後や休日に遊んだり学んだり安心して生活できる場として開設。すでに約20人が利用している。



「平和の園」に込められた願い

名称を「平和の園児童クラブ」とした理由を尋ねると、「世界では、戦争や環境問題など痛ましい状況が続いています。ここに集まる子どもたちが大人になったとき、「平和」を実感できるように名付けました」と願いを語る。その第1歩として、利用する子どもたちで1日1羽、折り紙で鶴を折り、「平和の鶴」として8月に長崎市の平和公園へ届けることも計画しているという。

地域との交流の拠点を目標して

普段は、保育士4人（うち支援員2人）が交代で子どもたちを見守り宿題や遊びをサポート。安心して預けてもらえる体制を整えた。また将来的には、体験学習などを通して、子どもたちが中部地区の皆さんと交流できる拠点としても期待されている。



平和の園児童クラブ
しまもと ふじこ
園長 島本 藤子 さん

詳しくは東和愛児園
(☎28-0156) まで

編集後記

出合いと別れの季節となり、若人たちは、それぞれ夢と希望を胸に進学、社会へと新たなチャレンジのころを迎えています。3年ぶりに広報委員会へ復帰いたしました。すっかり委員の顔ぶれも変わり、この季節と相まって時代の流れを感じますが、ただ、私たちの仕事は議員として、いつの時も市民の生活の安定と行政の監視また提案者としての役割を（市民とのパイプ役として）果たさなければなりません。3月議会において、新年度予算が可決されました。限られた予算の中で最大の効果（成果）をなすように新たな気持ちで（市民目線で）議会活動に取り組んで参ります。

松尾 実

広報特別委員会

委員長	委員	委員長	委員	委員	委員
針尾 直美	松口 茂生	綾香 良浩	池田 稔巳	松尾 実	山内 貴史

平戸市議会

検索

市議会の詳しい情報は、平戸市議会のホームページをご覧ください。



3月定例会

議案第31号 令和7年度平戸市一般会計予算 歳入：基金繰入金、その他財政全般について

財政の健全化に努めるとともに基金の計画的で効率的な運用を

総務厚生委員会での主な論議

Q 新しいまちづくり基金、「やらんば！平戸」
応援基金の予算の立て方、使途はどうなっているか。

A 基本的に各課からの予算要求に基づき、それぞれの基金の目的に沿って充当している。新しいまちづくり基金は市単独での公共施設整備・改修事業に充当。「やらんば！平戸」応援基金は原資がふるさと納税寄附金で、50％は返礼品などの経費となるため、残りの50％を継続的な事業などに充当することとしており、臨時的なものはこれまでに貯まった分を充当している。

Q 新しいまちづくり基金条例に、本基金設置の
目的が明記されているが、使途が明確でない。
指針などを策定し基金の使途を特定すべきでは。

A 現状は市長の方針の中で決めている。議会に対してもきちんと説明できるよう施行規則などの策定について検討していく。

議案第31号 令和7年度平戸市一般会計予算 環境衛生費

CO₂排出量削減率100％に向けて

総務厚生委員会での主な論議

Q 環境関連の各種事業によりCO₂削減に向け取
り組んでいるが、市民一人ひとりができること
には限界があり、大きな取り組みを進めていか
なければ削減目標を達成するのは難しいのでは
ないか。

A 風力発電や太陽光発電、今後考えている木質バイオマスの事業化を含めると2030年までには削減率60％は達成できると見込んでいるが、残りの40％は地道な努力だけでは達成が難しい

意見 令和7年度一般会計予算においては、物価高騰や人件費の急激な上昇などに加え、普通交付税の減少が積み重なるなどの要因から、収支の均衡が図れない状況となっており、その財源不足を補うための財政調整基金の取り崩し額は12億6,200万円と、財政危機宣言を行った平成18年度当初予算における財源不足額に匹敵する状況にある。

また、「やらんば！平戸」応援基金は、近年のふるさと納税寄附者の減少と対象事業の拡大などから、令和7年度末の残高は約16億6,500万円と、令和5年度末からほぼ半減すると見込まれている。今後の行財政運営が大いに懸念されるため、早急な財政の健全化に努め、基金の計画的で効率的な運用を行い、職員一丸となってこの厳しい状況を乗り越え、今後さらなる市民福祉の向上に努めていただくことを期待する。

と考えている。令和7年度当初予算に計上したアドバイザー事業における専門家の意見を踏まえ、2050年度までに何ができるか検討していきたい。



今議会ここに注目

二次元コードから委員長報告全文をご覧ください。

令和7年1月
臨時会
(1月29日)



令和7年3月
定例会
(2月25日～3月19日)



1月臨時会

議案第6号 令和6年度平戸市一般会計補正予算（第8号） 松浦鉄道燃油価格高騰対策支援事業／交通事業者燃油価格高騰対策支援事業 燃油価格高騰の影響を受けている交通事業者を支援

■事業概要

昨今の燃油価格高騰の影響を受けている松浦鉄道株式会社、市内の貸切バス事業者4社およびタクシー事業者4社に対し、燃油高騰分を補助し経営を支援するもの。

総務厚生委員会での主な論議

Q 他の公共交通事業者全体への支援はどのように考えているのか。

A 路線バスや交通船は、運営費補助を行っており、今回、第三セクターである松浦鉄道に加え、旅客自動車運送事業者である貸切バスおよびタクシー事業者に対し個別に補助を行うもの。



議案第6号 令和6年度平戸市一般会計補正予算（第8号） 肉用牛経営緊急支援事業 物価高騰の影響を受けている肉用牛繁殖農家を支援

■事業概要

物価高騰を背景とした肉用子牛価格の急激な下落により、経営が圧迫されている肉用牛繁殖農家に対し、緊急的な子牛価格の補てんを行うもの。

産業建設文教委員会での主な論議

Q 物価高騰の影響については、園芸など、他の品目にも及んでいるが、畜産業だけを支援することになった経緯は。

A 本市農業全体にわたり、他品目などへの支援策も検討したが、畜産業においては子牛価格の下落が著しく支援が急務であったため、苦渋の決断だが、今回は畜産業のみの支援となった。



議案第31号 令和7年度平戸市一般会計予算
部活動地域移行推進事業

運動部だけでなく文化部の（中学校）部活動地域移行は

■事業概要

少子化の中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、地域クラブの設立に向けた支援を行い学校部活動の地域移行を推進するもの。

産業建設文教委員会での主な論議

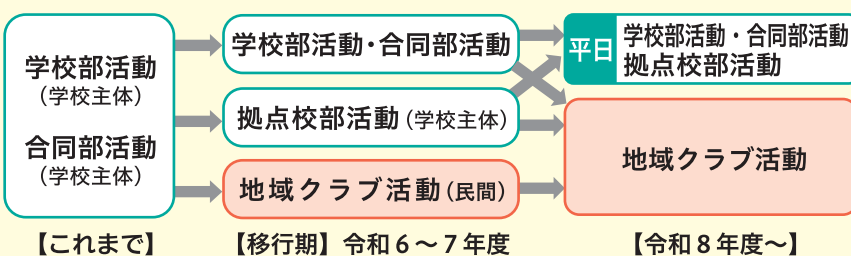
意見 運動部に比べ文化部が進んでいないように感じる。各団体と連携して取り組んでほしい。

A 文化部は、運動部よりも練習場所の確保などで難しい部分はあるが、他市町では高等学校と連携し活動しているところもあり、本市でも中学校と高等学校との垣根を越えた活動の実施も考えられる。今後も運動部、文化部ともスムーズに地域移行できるよう取り組んでいきたい。



吹奏楽部のイメージ

中学校部活動地域移行のイメージ



【支援内容】
・中体連主催の大会参加
・鍵管理システムの構築
・備品の購入・貸付
・部活動地域移行コーディネーター配置
・地域への啓発活動

議案第39号 令和7年度平戸市水道事業会計予算

今後の給水収益の減少を見据えた料金改定の考えは

産業建設文教委員会での主な論議

Q 営業収益中、給水収益が前年度と比較し814万1,000円減少すると見込まれている。給水人口が年々減少する中、今後の水道料金の改定幅を緩やかにするため、早めに料金改定を行うことも1つの考え方だと思うが、料金改定についてどのように考えているか。

A 給水人口の減少が今のまま推移すると、この先4年前後で単年度収支が赤字となり、内部留保資金も令和13年ごろに底をつくと予測される。このことから、今後数年のうちには料金改定しなければならない状況だが、実施時期は今後の

水需要の変化を慎重に予測し、数多く有する水道施設のあり方、今後の維持管理経費などの支出面からも総合的に判断すべきと考えている。



下亀浄水場

議案第38号 令和7年度平戸市工業団地事業特別会計予算

新たな工業団地の整備にかかる工事請負費などを計上

賛否が分かれた案件

■事業概要

企業を誘致し、雇用機会の創出および地域経済の活性化を図るため、田平町上亀免に新たな工業団地を整備するもので、令和7年度当初予算では、主に整備工事にかかる工事請負費を計上するもの。

- 整備対象予定地 平戸市田平町上亀免202-1
ほか9筆
- 開発予定面積 47,870㎡
（内訳）分譲用地20,039㎡、調整池1,630㎡、管理道路2,662㎡
造成森林・緑地・残森林その他23,539㎡
- 主なスケジュール
令和5～6年度 実施設計業務
令和6年度 登記業務・開発許可申請業務・用地取得および伐木業務
令和7～8年度 電柱移設補償・開発許可変更申請・監理業務・整備工事
令和9年度 分譲開始予定



土地利用計画図

産業建設文教委員会での主な論議

Q 令和7年度も継続した企業訪問を行うと思うが、令和6年度と同様に考えているのか。

A 令和7年度以降はさらに訪問回数を増やしていきたいと考えている。

Q 現時点での訪問企業の感触は厳しいものなのか、それとも前向きに検討していただいているのか。

A 令和6年度新規訪問企業6社のほか、10社を継続訪問している。その際、工業団地整備の進捗よくや西九州自動車道の延伸などの環境の変化も伝えており、継続訪問をしている企業においては毎回訪問を受け入れていただいている。本市に進出するかについては企業の経営判断となるので明言は無いが、本市の立地や特性も踏まえて、候補地の1つとして検討してもらっている。新たな訪問先の開拓についても、長崎県産業振興財団と連携して取り組んでおり、訪問企業に対しては随時情報を発信していきたい。

⇒ 賛成多数で原案のとおり可決。

Q 事業費が大きく増加した理由は。

A 当初、前工業団地の造成費を参考に、工事請負費を約4億円と見込んでいたが、年数が経過し、資材費・労務費などの上昇が理由で約7億6,000万円となった。

Q 企業誘致の実績によっては、本工業団地が塩漬けとなる危険性もある。宅地など他の用途への転用も見据えた造成方法とはならないのか。

A 都市計画法に基づく県からの開発許可の制限に加え、盛土規制法などの各種規制に係る申請手続きの問題もあり、転用は想定していない。

Q 本市のさまざまな特性をアピールし、引き続き企業誘致に取り組んで欲しい。

A 誘致にあたっては、自然災害の少なさや交通アクセスの改善などメリットも含めて情報を提供している。将来の本市の雇用につながるような誘致に引き続き取り組んでいきたい。

総務厚生委員会

委員長 吉住 龍三

副委員長 山内 貴史

委員 近藤 芳人

山田 能新

竹山 俊郎

吉住 威三美

山内 政夫

吉福 弘実



3月定例会



委員長報告全文は
こちらをご覧ください。

総務厚生 委員会 レポート

令和7年度一般会計 国民健康保険特別会計 交通船事業会計予算などを議論

医療提供体制のあり方検討委員 会運営事業（繰越明許費補正）

Q 年度内に協議終了が見込めず、医療需要等の分析予測に関する業務委託1,012万円を繰り越すとのことだが、これまでの協議内容にも影響を与えるので、将来の医療需要の予測は早めに出す必要があったのではないか。

A これまでの協議では需要予測に関する意見は出ていないが、今後の協議で意見が出ることも想定し、委託料の全額を繰り越す。

ふるさと応援寄附金推進事業 特典（債務負担行為補正）

Q ポイント制で担当者の事務が煩雑化している。また、ポイント消費されない、市内事業者の売上増につながらない。ポイント制は廃止すべきではないか。

A 希望する時期に返礼品を注文できるという寄附者目線でポイント制を継続してきたが、再度協議する。

Q ふるさと納税低迷の要因は。
A 地域間の競争、質より量を求める

地域医療介護総合確保基金事業

Q 介護職人材不足が課題だが、介護サービス需要の今後の見通しは。

A 当面は増える見込みだが、2030年ごろに減少に転じ、2050年には現在の7割程度になると予測されている。令和7年度に人材確保対策協議会を立ち上げ、外国からの人材確保も含め検討していく。

環境衛生費

Q 新たに開設された風力発電所のCO₂削減効果がゼロとなっているが、平戸南風力発電と生月風力発電を含めた場合どうなるのか。
A 現在42%としているCO₂削減効果が57%になる見込み。

放課後児童クラブ送迎支援事業

Q 小学校区外の放課後児童クラブへ通う児童の民間タクシーでの送迎において、タクシー事業者とはどのように調整するのか。
A 翌週の利用予定（保護者から連絡）

傾向、物価高騰から生活用品を求める傾向が要因と考えている。

Q 低迷をカバーできるほどの新商品が生まれないことや、供給が足りないという問題もあるのではないかと。産業全体の振興につながる取り組みが必要ではないか。

A 関係課も含め内部で検討する。

地域防災緊急整備事業

Q 最大1,500人の避難を想定し、テント式パーティションなどを購入することだが、どのくらいの施設と職員が必要か。

A 平戸文化センターなど約10施設を見込んでいる。具体的な職員配置人数は定めていないが、災害時初動対応マニュアルに基づき避難状況に応じて配置する。

行政改革事務経費

Q 令和6年度予算と比べ増額となっている要因は何か。

A 業務量調査・業務改善支援システムの導入経費539万円が増額の主な要因。各課の業務内容、業務量や

を、放課後児童クラブが取りまとめ、タクシー事業者へ連絡する。

Q タクシーが込み合っている場合はどのように対応するのか。

A 路線ごとに契約しているため、他地域のタクシー事業者の対応は想定していなかったが、今後漏れなく送迎できるよう努めていく。

二次救急医療体制整備事業

Q 北松中央病院での二次救急医療必要経費について、本市の負担割合が高いと指摘されているが、佐世保市内の病院への搬送実績に基づき見直されるのか。

A 令和5年度から協議してきたが、全市町の合意までに至らず令和7年度は同様の積算。令和8年度に向け引き続き協議したい。

消防団活動事業

Q 消防団員の確保が困難になり、各分団から定数見直しの声があると聞くが、何か検討しているか。

A 令和6年度からの消防団組織検討に係る小委員会の協議結果を受け、

質を調査し、改善ポイントを分析して業務改善に努める。

Q 人口が減少する中、予算に対する人件費の割合も大きくなるため、長期的な視野での検討が必要になる。策定予定の行政改革大綱の中で何か検討しているか。

A 今後職員数を減らさざるを得ない状況になることは認識しているが、減らすのは困難な状況。調査で業務を見直し、会計年度任用職員が担当可能な業務の整理など、事務改善に活かしたい。

医療的ケア児訪問型レスパイト事業

Q どのような事業内容なのか。

A 小児慢性特定疾病など、在宅で医療的ケアを必要とする子どもを看護・介護する家族の負担軽減を図る事業で、美容室や授業参観など自宅以外でサービスを利用可能とし、指定訪問看護ステーション利用経費の助成を行うもの。

※レスパイト…休息・息抜き

Q どのように周知するのか。

A 関係会議での周知に加え、支援事業所などと連携し周知する。

市営交通船事業会計予算

令和7年度には消防団組織等検討委員会を立ち上げ、消防団としての方針を決定していく。

Q フェリーの中間検査は、代船調達の関係で検査期限直前になったと聞いた。期限までに検査が完了しないと運航に支障が出る。代船業者との交渉は、担当者に管理職も同行し相談すべきでは。

A 管理職も同行して丁寧に相談し、運航に支障がないよう努める。

Q 再来年度ごろに資金の枯渇も想定されるが、島民のことを考えると簡単に料金改定できない。繰出基準含め再検討が必要では。

A 令和5年度赤字分の全額補てん廃止から厳しい状況。令和6年度決算を踏まえ見直しを立て、財政部局と協議したい。



フェリー大島

産業建設文教委員会

委員長 綾香 良浩

副委員長 大村 謙吾

委員 池田 稔巳 井元 宏三 神田 全記

辻 賢治 針尾 直美 松尾 実

松口 茂生



3月定例会



委員長報告全文は
こちらをご覧ください。

産業建設文教 委員会 レポート

令和7年度予算 アルベルゴ・ディフーズタウン 平戸IC開通イベントなどを議論

有害鳥獣被害防止対策事業

Q イノシシ捕獲後の実績報告にスマホアプリを導入し、地図上に可視化した情報を猟友会員と共有しながら捕獲に活用することだが、スマホに慣れていない年配の猟友会員への対応はどのようなのか。

A 即座に切り替えるのではなく、紙ベースとスマホアプリ両方の報告に対応する移行期間を設け、徐々にスマホアプリへと誘導していく。

畜産クラスター構築事業

Q 生月町で肥育牛を飼育している市外の事業者が、牛舎を増設するということだが、何頭増やすのか。また、新たに雇用も生まれるのか。

A 既存施設には肥育牛が174頭おり、従業員も2人雇用されている。増設後は、新たに100頭ほど増やす予定で、従業員も1人増やすと事業者から聞いている。

Q 本市畜産業活性化のため、この事業者にはできるだけ平戸口中央家畜市場で子牛を購入してほしい。

A 積極的に平戸口中央家畜市場から

買うようにしていると聞いている。今後も事業者と連携して本市畜産業の活性化に繋げたい。



平戸口中央家畜市場

漁業後継者経営支援事業

Q この事業の中にある「若手漁業者が取り組む研修会等の支援」について、今回新たに予算措置をした背景を教えてください。

A 令和6年度までは「漁船用機器、漁労用機器または鮮度管理機器等の整備」のみの補助メニューだったが、鮮度管理機器などの整備実績がなかった。そのため、鮮度管理機器を活用している先進地で学び、既存の補助メニューを活用してもらうよう、新たにメニューを追加した。

Q 45歳未満の漁業協同組合の正組合員が補助対象とのことだが、将来的に安定した漁獲量を維持するために対象年齢を上げる必要があると思う

施設予約システム等導入事業

Q 社会体育施設の予約システムと一部スマートロックを導入して、簡単に予約でき鍵の貸し借りも不要になることで、利用者の利便性が向上するということだが、使用料の電子決済は導入されていない。電子決済が利用できればさらに利便性が向上するので、今後検討してほしい。

A 施設を利用しなかった場合の還付方法など課題が残っているため、今回は電子決済を導入していないが、今後は他市の状況などを参考に導入に向け検討していく。

令和7年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計予算

Q 指定管理料は、令和6年度同様1,000万円計上されているが、令和6年度は施設改修工事で想定以上の休館を余儀なくされた。指定管理者側に過失があったわけではないため補てんが必要では。

A 令和6年12月末日時点での営業収益は前年度同時期比約236万円減少している。減収相当分の補てんは、今後財政課と協議したい。

が、どのように考えるのか。

A 後継者対策は喫緊の課題ではあるが、対象年齢の引き上げは今後検討していく必要がある。

サーキュラーエコノミー型 ビジネス創出事業

意見 本事業は、あくまでも市内企業と市外企業とが連携した循環型経済の新たなビジネスモデルを創出する事業との説明があった。しかし、現在取り組みが進んでいる事業モデルを例として食品残渣から液肥を作る事業だと誤解を招いている部分があるため、本来の目的をしっかりと整理し事業説明するよう指摘した。

アルベルゴ・ディフーズタウン 推進事業

Q アルベルゴ・ディフーズ開設に向け補助を活用して改修・整備した施設への効果は当然ながら、その周辺への経済波及効果が重要だが、どのように考えているか。

A アルベルゴ・ディフーズタウンは、5年後の観光消費額を5%増加させ



あづち大島いさりびの里

権利の放棄

Q 館浦漁港ビルの一部を館浦出張所として使用するため、旧生月町が昭和29年10月に館浦漁業協同組合へ出資し取得した永代使用権を、令和7年度の館浦漁港ビル解体に際し放棄することだが、もっと早く権利を放棄すべきだった。これまでも放棄するタイミングはあったと思うが、なぜ今なのか。

A 本来、昭和50年に生月町役場館浦出張所が生月船員福祉会館に移った際、または平成17年の市町村合併の際に放棄すべきだったが、放棄されずに現在に至った。

Q 今後はこのようなことがないようにしっかりとチェックすべき。

A 毎年決算時期に出資金の状況を確認するようになっていたので、その際に確認を徹底する。

行政視察報告（総務厚生委員会）

1月22日・23日

【参加者】委員長 吉住 龍三
副委員長 山内 貴史
委員 近藤 芳人 山田 能新 吉福 弘実

視察報告書の全文は、
こちらの二次元コード
からご覧になれます。



福岡県うきは市

1月22日

○市議会ペーパーレス会議システム導入・運用
（うきは市議会事務局）

令和7年1月からすべての会議で完全ペーパーレス化を実現（議員発案で「DX推進検討会」を設置）したうきは市議会の担当者から、これまでの経緯や運用などの説明を受け、意見交換を行いました。

○公共施設予約オンライン申請サービス
（うきは市教育委員会 生涯学習課）

「来ない・書かない窓口」をコンセプトに体育施設や文化施設の予約システムを導入しているうきは市教育委員会の担当者から、その概要や運用状況などの説明を受け、意見交換を行いました。

大分県臼杵市

1月23日

○大分県臼杵市
（臼杵市地域力創生課）
雑誌「田舎暮らし」の「住みたい田舎ベストランキング（3万～6万人未満の市）」の上位で、年間移住者数200人以上を達成した臼杵市地域力創生課の担当者から、移住者確保の施策など説明を受け、意見交換を行いました。

○うすき石仏ねっとについて
（臼杵市保険健康課）
無駄の少ない安全で質の高い医療・介護サービスを目指し、平成20年3月に導入された医療・介護・保健情報連携システム「うすき石仏ねっと」について、運用状況・効果などの説明を受け、意見交換を行いました。



うきは市での視察



うきは市議会のタブレット



うすき石仏ねっとのイメージ

政務活動報告

2月12日・13日

※政務活動とは、市政に関する調査・研究などの議員活動のことです。平戸市では、所属議員数1人あたり月額1万円の政務活動費が会派へ交付されています。

【会派名・参加者】
新蒼会 神田 全記 綾香 良浩
新時代 大村 謙吾 近藤 芳人
新波クラブ 井元 宏三 吉福 弘実 針尾 直美

長崎県庁（長崎市）

2月12日

長崎県の移住施策の取組などについて／西九州自動車道進捗、平戸大橋交差点付近の状況について／長崎県における救急医療提供体制について／部活動地域移行について

長与町役場（長与町）

2月13日

長与町の部活動地域移行について

産業建設文教委員会所管事務調査（中間報告）

産業建設文教委員会は、令和6年12月定例会において、所管に関する事務のうち「子どもたちを取り巻く教育現場および社会体育施設の現状と課題について」閉会中の継続調査の付託を受け所管事務調査を実施しています。

【趣旨・目的】
本市教育委員会では、「第3期平戸市教育振興基本計画（以下、第3期計画）」（令和2年度～令和6年度）に基づき、「ふるさとに誇りをもち明日を担う人材の育成と個性豊かな地域文化の振興」という理念のもと、「平戸の明日を担う人材の育成」「生涯にわたる学びの充実」「歴史・伝統文化の保存・継承・活用」を重点目標として、人口減少、高齢化、グローバル化といった急速かつ急激に変化する社会に対応するため、国・県の計画を参酌しながら着実に計画を推進しています。
本所管事務調査では、第3期計画に定める重点目標の「平戸の明日を担う人材の育成」および「生涯にわたる学びの充実」の中で掲げる「ICTを活用した教育の推進」「学校給食環境の充実」「スポーツ環境の充実」の3項目について現状と課題を調査し、さらなる教育の振興を図ることを目的としています。

1月30日 所管事務調査

現状を把握するため、現地視察および関係者との意見交換を行いました。

○ICTを活用した教育の推進
GIGAスクール構想実現後の教師のICT活用指導力と、児童生徒の情報端末機器活用の現状について、市内小学校を視察しました。



小学6年生の授業風景

○学校給食環境の充実
学校給食共同調理場における作業環境等について、平戸市立北部学校給食共同調理場を視察し、栄養士から現状の説明を受けた後、栄養士および調理員と意見交換を行いました。



栄養士および調理員との意見交換

○スポーツ環境の充実
老朽化した社会体育施設の状況を把握するため、①シーライフひらど、②ライフカントリー、③平戸市営相撲競技場の視察を実施しました。



シーライフひらど

平戸市営相撲競技場

○関係職員との意見交換
現地視察を踏まえた現状と課題について、教育委員会職員との意見交換を行いました。

各現地視察の概要と委員会所見、主な意見交換の内容については、中間報告書に記載しています。



なお、本件については、4月14日に第2回目の所管事務調査を実施し、現在、報告書を取りまとめています。最終報告書の内容については、次号（8月1日発行）でお知らせします。

議案番号	件名	結果
24	平戸市農林漁業振興資金利子補給条例の一部改正について	原案可決
25	平戸市営一般住宅管理条例の一部改正について	//
26	平戸市布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正について	//
27	平戸市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	//
28	令和6年度平戸市一般会計補正予算（第9号）	//
29	令和6年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）	//
30	令和6年度平戸市介護保険特別会計補正予算（第3号）	//
31	令和7年度平戸市一般会計予算	//
32	令和7年度平戸市国民健康保険特別会計予算	//
33	令和7年度平戸市後期高齢者医療特別会計予算	//
34	令和7年度平戸市介護保険特別会計予算	//
35	令和7年度平戸市農業集落排水事業特別会計予算	//
36	令和7年度平戸市あづち大島いさりびの里事業特別会計予算	//
37	令和7年度平戸市駐車場事業特別会計予算	//
38	令和7年度平戸市工業団地事業特別会計予算	//
39	令和7年度平戸市水道事業会計予算	//
40	令和7年度平戸市病院事業会計予算	//
41	令和7年度平戸市営交通船事業会計予算	//
42	平戸市過疎地域持続的発展計画の変更について	//
43	平戸市辺地に係る総合整備計画の変更について	//
44	平戸市辺地に係る総合整備計画の策定について	//
45	権利の放棄について	//
46	工事請負契約の締結について	//
47	和解及び損害賠償の額を定めることについて	//
48	人権擁護委員候補者の推薦について	支障なし
49	平戸市副市長の選任につき同意を求めることについて	同意
50	平戸市監査委員の選任につき同意を求めることについて	//
報告番号	件名	結果
1	一般財団法人平戸市振興公社の経営状況を説明する書類の提出について	報告済
議案議番号	件名	結果
1	平戸市議会の個人情報保護に関する条例の一部改正について	原案可決

賛否が分かれた案件

議案名	議員氏名 (議席番号順)	松本	池田	山内	綾香	吉住	山内	松尾	松口	大村	針尾	井元	神田	辻	吉住	竹山	吉福	山田	近藤	採決結果	賛成・反対
		正治	稔巳	貴史	良浩	龍三	政夫	実	茂生	謙吾	直美	宏三	全記	賢治	三美	俊郎	弘実	能新	芳人		
議案第38号 令和7年度平戸市工業団地事業特別会計予算		×	●	○	○	○	○	●	●	○	○	欠	○	●	○	●	○	○	欠	原案可決	10：5
議案第49号 平戸市副市長の選任につき同意を求めることについて		×	○	○	○	●	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	15：1

○は賛成、●は反対、「欠」は欠席
☒は議長（議長は可否同数の場合を除き、表決（裁決）しない）

令和7年1月臨時会で審議された案件（令和7年1月29日）



議案番号	件名	結果
1	平戸市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
2	平戸市長、副市長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	//
3	平戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	//
4	平戸市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	//
5	平戸市企業職員の給与等の種類及び基準に関する条例の一部改正について	//
6	令和6年度平戸市一般会計補正予算（第8号）	//
7	令和6年度平戸市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	//
8	令和6年度平戸市介護保険特別会計補正予算（第2号）	//
9	令和6年度平戸市水道事業会計補正予算（第2号）	//
10	令和6年度平戸市病院事業会計補正予算（第2号）	//
11	令和6年度平戸市市営交通船事業会計補正予算（第4号）	//
12	指定管理者の指定について ※平戸市生月大橋公園	//

令和7年3月定例会で審議された案件（令和7年2月25日～3月19日）



議案番号	件名	結果
13	平戸市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
14	平戸市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	//
15	情報通信技術の活用による行政手続等に係る関係者の利便性の向上並びに行政運営の簡素化及び効率化を図るためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//
16	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	//
17	平戸文化センター条例の一部改正について	//
18	平戸市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	//
19	平戸市福祉医療費の支給に関する条例の一部改正について	//
20	平戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	//
21	平戸市介護保険法に基づき地域包括支援センターの設置者が遵守すべき基準に関する条例の一部改正について	//
22	平戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用 及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について	//
23	平戸市放課後児童健全育成施設条例の一部改正について	//

一般質問

一般質問とは

議員が市政運営全般にわたり、その執行の状況や将来の方針、考え方などを市側に質し、答弁を求めることをいいます。平戸市議会では定例会毎に実施しており、答弁時間を含めて、1人あたり60分の持ち時間が与えられています。



3月定例会では、2月27日～28日の一般質問で7人の議員が登壇。教育を中心に、生活環境・総務・福祉・商工業・農林業・消防行政などの課題への対応策や今後の計画・進捗などについて市の考えを質すほか、議員それぞれの視点からの提案などについて議論が交わされました。

※各議員の二次元コードから一般質問の録画放送をご覧ください。
※文責はいずれも本人です。

●教員の負荷軽減策と平戸流教育方策

近藤 芳人（新時代）



Q 教員の過剰な負荷が問題視されて久しい。そこで、授業以外の業務支援を行う職員を採用できないか。提出物確認や採点、プリント作成、コピー、給食支援、清掃支援、電話対応、登下校時の安全指導、掲示物作成・貼替、集金、年度初めの諸業務など。

教育長 「補習等のための指導員等派遣事業」（文科省）内の「教員業務支援員配置事業」に該当し、県内11市町で適用している。県内の事業のため、平戸市としては状況を見ながら検討したい。

市長 首長連携会議や市長会でも協議し、県に働きかけたい。

Q 国3分の1、県3分の2負担なので市の持ち出しは不要。また、適用校勤務時はやらなくてよかったのに、平戸に異動したらやらなければならぬというのは、勤労環境として大きな格差だ。異動希望にも大きく影響しうる。県内全市町で統一した施策とすべく強く要望すべし。

市長 首長連携会議や市長会でも協議し、県に働きかけたい。

Q 次に、放課後や休日に授業復習や宿題を支援する仕組みができるか。

Q 奉仕的に活動する皆さんには心から敬服するが、私の提案は、全市民的に等しく安定的に目的を果たすためにどんな仕組みが必要かということ。「補習等のための指導員等派遣事業」内に「学習指導員等の配置」というメニューがあり、「教員業務支援員配置事業」と同様、市の負担はない。熱意を持って県に要望すれば財源は生み出せる。市教委が後ろ盾となり「委託できる団体や人材を全ての地域に作っていく」方向に動くべし。

教育長 両提案とも学校にとって非常にありがたい。検討、要望したい。

●社会体育施設のあり方について ●高齢者いきいきお出かけ券について ●職員採用について

井元 宏三（新波クラブ）



Q 社会体育施設、特に施設の老朽化が激しい市営相撲競技場、利用者の多いライフカントリーについて、現状の問題点と今後の対応について尋ねる。

教育次長 相撲競技場は、土俵などの整備、付随設備などの不足があり、今後市有地での新たな建設、ほかの社会体育施設との集約など、さまざまな選択肢を視野に入れ検討する必要がある。また、ライフカントリーは、屋根付きのスタンド席や更衣室を備えた控室がない事、芝生の張り替え時に使用できなくなるなどの課題がある。今後は、利用者目線に立った施設の整備、設備の充実を図り、より多くの利用につながるよう努めていきたい。

文化観光商工部長 情報誌やメディア、ウェブ広告、SNSなどによる情報発信に加え、メディアへの露出を意識したイベントの開催など、さまざまな手法を組み合わせることでPR効果が高まると考え令和7年度に平戸あごを集中的にPRする予算を計上している。

Q 「平戸アゴ」のブランド化において「アゴ」と言えば「平戸」と認識してもらうため、どのような手法を考えているのか。

文化観光商工部長 情報誌やメディア、ウェブ広告、SNSなどによる情報発信に加え、メディアへの露出を意識したイベントの開催など、さまざまな手法を組み合わせることでPR効果が高まると考え令和7年度に平戸あごを集中的にPRする予算を計上している。

Q 「高齢者いきいきお出かけ券」について、今年度の改正点は。

福祉部長 手続きの簡素化と利用可能施設および加算対象の拡大、申請書の記載内容の簡素化および封筒での申請から葉書での申請への変更をしている。

意見 近年の物価高騰で交通費、施

Q 「高年齢いきいきお出かけ券」について、今年度の改正点は。

福祉部長 手続きの簡素化と利用可能施設および加算対象の拡大、申請書の記載内容の簡素化および封筒での申請から葉書での申請への変更をしている。

意見 近年の物価高騰で交通費、施

Q 地域猫活動の実績は。

市民生活部長 飼い主のいない猫（野良猫）の過剰繁殖や周辺的生活環境悪化を防止するために、不妊化手術を行い、地域の理解を得て餌の世話や糞の始末などを管理しながら、将来的に飼い主のいない猫を減らしていくという「地域猫活動」で、令和4・5年度合わせて19頭の不妊・去勢手術を実施（県事業・無料）している。

Q 相談数から考えると2年で19頭は少なすぎる。手術費用が高額で個人で負担するのも難しい。市として一歩踏み込んだ対策はできないか。

市民生活部長 保健所やボランティア団体との意見交換などを通じ実態を把握し、課題や問題点を整理して、市として何ができるか検討する。

対する助成をはじめ市民に寄り添った支援を検討していただきたい。また、愛護動物の遺棄は犯罪であることの周知徹底も願っている。



Q 校務のDX化の取組状況は。

教育長 県が推奨する校務支援システムを導入し、情報のデジタル化、他市町とのデジタル通信を行っている。

意見 校務のDX化は、先生の働き方改革につながり、ICTに苦手意識を持つ先生も日々の活用で、使うことに慣れる。平戸市が校務のDX化で県下一となることを期待する。

対する助成をはじめ市民に寄り添った支援を検討していただきたい。また、愛護動物の遺棄は犯罪であることの周知徹底も願っている。



意見 近年の物価高騰で交通費、施

Q 近年、公務員離れと言う話を聞いているが、平戸市においての職員の応募および採用の状況についてどのような状況か。

総務部長 一般事務職・消防職は一定数採用できているが、技術職はなかなか応募者がいない状況が続いており、土木技師については充足できていない。

意見 こちらから出向く積極的募集を行い、少しでも早期に技術職の充足を行うようお願いする。

●新年度予算と行財政運営上の諸課題について
●生涯学習・生涯スポーツの推進について



吉住 龍三 (創政ひらど)



Q 新年度の予算編成を終えた現在の財政状況と新年度予算の特徴、見えてきた課題は何か。

市長 各種施策の推進のため効果的な事業予算へ配分を行った。この結果、市町村合併後最大の当初予算となった。令和5年度までの財政健全化指標は一定の良好な状況を保っていたが、今後は、経常収支比率の上昇など財政運営の硬直化が懸念され、厳しい局面を迎えている。

Q 財政調整基金(以下「財調」)は12億6千万円の繰り入れ(取り崩し)をしている。通常の収支で均衡が図れるよう編成するのが予算編成の原則だが、今の状態は収支均衡が図れず健全性が失われたという理解でいいか。

財務部長 均衡が保てていない。令和6年度の決算見込みでは、財調取り崩しはどれくらいか。

財務部長 4億円〜5億円の財調取り崩しが必要と考えている。

Q 12月議会では(財政は)健全性を保っているという話だった。いつの時点で(財政状況が)悪くなった

のか。

財務部長 国の補正予算に伴う地方交付税の再算定の通知があった令和6年12月末。

Q 今回の財調取り崩しは「財政危機宣言」を行った平成18年度当初予算の財源不足額14億4千万円に匹敵する。状況の違いは。

財務部長 (当時は)各市町村も基金を持ち合わせておらず、このままでは財政再建団体に陥るという状況で「財政危機宣言」を行った。今回は、これまでの財政健全化で余裕ができた基金を使いながら、新たな課題を解消するために基金を活用している。

意見 当時は合併効果で人件費削減など健全化が図られた。まだ課題が多いので早期の健全化を。

Q 新教育長は、本市の生涯学習の推進を、今後どのような考え、スタンスで臨まれるのか。

教育長 誰もがいつでもどこでも楽しく学習する機会を得、仲間の輪を広げ、その中からリーダーが生まれ、明るく元気な地域づくりにつながるよう努めたい。

●若い世代が将来に関心を持つためにも
高齢者支援が充実したまちづくりを



綾香 良浩 (新倉会)



Q 健康状態や経験など個々の状況に応じた支援ができれば、何歳になっても元気で過ごすことのできるまちづくりにつながる。シニア層に対する就労支援は。

福祉部長 地域包括支援センターにおける総合的な高齢者相談や、ハローワークなどの関係機関へつないでいる。

Q 健康寿命の延伸を図る対策の重要性は、ますます高まっていく。必ずしも高齢者のみを対象とする事業ではなくても、意識すれば他課の事業と連携して取り入れられるものもある。健康増進の支援として、どのような方針で取り組むのか。

福祉部長 他の事業や活動、地域との連携を密にし、より多くの皆さんの参加と関わり合いによる支援に結びつくよう取り組む。

Q 近所や地域との関係が希薄になれば、災害時の助け合いや緊急時の対処にも遅れが生じる。よりよい地域社会をどのように構築するか。



平戸よかよか体操の貸出用DVD

福祉部長 時代の流れに配慮しつつ不便を感じないよう取り組む。
Q 若い世代が将来に関心を持っために、高齢者支援が充実したまちづくりに努めてほしい。
市長 高齢者を孤立させない互助体制の構築が不可欠。

●学校給食センター環境整備について
●学校給食センターの統合について
●高越地区災害復旧工事について



山田 能新 (新倉会)



Q 地球温暖化によって年平均気温が上昇が続けていて、今後さら

に気温が上昇することが考えられる。そこで、給食センター調理現場で働く人は大変と聞く。特に夏場でも火を扱うので耐えがたいらしいが、職場の環境改善はできないものか。

教育次長 地球温暖化の影響で猛暑が続いている。学校給食共同調理現場で、空調設備など暑さ対策が十分でない施設があるが、環境改善に向けた大規模改修などには多額の費用が要する。

Q 多額の改修費用を要したり、児童生徒数の大幅な減少が予想される中、学校給食センターを1つに

統合し空調設備の整った施設をつくる方が良いのでは。

教育次長 施設の老朽化、児童生徒数の減少は今後も続くと思われる。平戸市公共施設等総合管理計画および平戸市立学校等適正規模・適正配置基本方針に基づき、今後の離島を除く調理場の集約を検討している。

Q 昨年11月の豪雨で甚大な被害を受けた高越地区災害復旧工事の進捗状況は。

教育次長 県によると、寸断された県道の復旧工事は、まず、仮設道路の3月末完成を目指している。本線の復旧工事は令和7年度中に着工予定とのこと。



給食センター



高越地区の寸断された道路



高越地区の崩れた橋梁

●市長5選不出馬

●消防中南部出張所について

松尾 実

(創政ひらど)



Q 10月の選挙には5選出馬しないと表明されたが、まだ若く健康である。その経緯を尋ねる。

市長 市長という権力の座に居続けると、組織の中にたまっていく長

とから、公共施設など市有財産の活用を図りつつ、中部地区および南部地区にそれぞれ出張所を配置する方針を策定した。

消防長 市民が安全で安心に暮らせるまちづくりの実現を基本方針として、消防力および救急体制の充実・強化ならびに火災予防対策を推進する。併せて中部出張所を紐差小学校区に、南部出張所を志々伎小学校区にそれぞれ配置する予定である。配置職員数は、両出張所とも最低人員を3人とし、これまで本署からのみ行っている補勤および移動配置の対応を、原則として生月出張所を含む3出張所間で行うことを考えている。また、中部出張所の運用開始の際、現在本署管轄としていた宝亀町と木場町の一部を中部出張所の管轄とするなどの見直しも考えている。

